

知立市長 石川 智子 様

図書館事業の充実に向けた政策提言書

令和7年8月4日

知立市議会

議 長 山 崎 りょうじ

企画文教委員長 中 島 清 志

令和7年8月4日

企画文教委員会

図書館事業の充実に向けた政策提言

図書館は、教育、福祉、子育て、文化、まちづくりなどすべてをつなぐ「まちの心臓」と言われている。知立市図書館は、開館から35年以上が経過。老朽化も著しく、図書館としての機能を十分に果たせていない側面がある。また、従来の図書館は、資料を中心に据えて場を構成し、「資料の収集・保存・貸出」といった図書館の基礎的な機能を維持したサービスの提供を行ってきた。しかし、近年の図書館には、「単に本を借りる・読むだけの場でなく、集い・滞在できる施設」「地域コミュニティとしての人が集まるにぎわい感のある施設」が求められている。こうした中、企画文教委員会においては、「図書館事業の充実について」をテーマに調査・研究をしてきた。

地域にある公共図書館は、子どもからお年寄りまで幅広い世代が長年にわたって最も利用する公共施設の一つであり、近年ではまちづくりや地域活性化を支える役割と期待が高まっている。そのため、図書館機能の強化を図るとともに、知立市の「魅力発信拠点」「学びの拠点」としての機能向上が不可欠と考え「図書館事業の充実」に向け、以下の政策提言を行う。

- 第1 交流スペース・多様な学びに対応する空間づくり、カフェコーナーを設置し、滞在型サービスの向上を図ること
- 第2 予約・返却・貸出について自動化を拡充し、市民向けサービスの充実を図ること
- 第3 公民館図書室を知立市図書館の分館として位置づけ、連携強化を図ること
- 第4 ビジネスサポートセンターの設置や高齢者・障がい者・子育て支援部署との連携強化し、潜在的な利用者へのアプローチを図ること
- 第5 現施設にとらわれず、知立駅周辺整備に合わせ、複合化・新築を含めて将来的な整備方針を市民とともに検討すること

【提言理由】

第1 交流スペース・多様な学びに対応する空間づくり、カフェコーナーを設置し、滞在型サービスの向上を図ること

飲食可能なスペースやカフェコーナーの設置による滞在型サービスの促進。友人とコミュニケーションがとれる交流スペースや多様な学びに対応するため、フリーwi-fi 拡充やパソコン電源確保するなど、地域コミュニティとしての人が集まるにぎわい感のある図書館づくり・滞在できる図書館を目指すべき。

第2 予約・返却・貸出について自動化を拡充し、市民向けサービスの充実を図ること

現在、図書館には自動貸出機が設置されているが、予約・返却・貸出については、自動化を拡充し職員の業務効率化を図られたい。業務効率化の結果として、図書館職員には、市民のニーズに合わせたイベントや講座を企画・実施することなどに注力されたい。

第3 公民館図書室を知立市図書館の分館として位置づけ、連携強化を図ること

市内には図書館に準じた施設として公民館図書室があり、図書館的な活動を行っている。「公民館の設置及び運営に関する基準」には、公民館図書室を根拠づける基準が整備されていたが、現在、要件や基準は大きく変更された。しかし、公民館図書室にはそれぞれに利用者カードが存在する。図書館と公民館図書室との連携を深めるために、一元管理が望ましいと考える。

第4 ビジネスサポートセンターの設置や高齢者・障がい者・子育て支援部署等との連携強化し、潜在的な利用者へのアプローチを図ること

図書館は、子どもから保護者、学生、ビジネスマン、シニア層など年齢も目的も様々な利用者が図書を軸に時間を過ごせる公共施設である。図書館がハブとなり、各種専門機関や行政機関等とをネットワークにより結ぶことによって、図書館に新たな利用者を取り込むことが出来る。

第5 現施設にとらわれず、知立駅周辺整備に合わせ、複合化・新築を含めて将来的な整備方針を市民とともに検討すること

知立市図書館は、開館から 35 年以上が経過。今後の図書館を「滞在したくなるまち」「歩きたくなるまち」の拠点施設として定義されたい。さらに、知立駅周辺整備に合わせ駅周辺などの利便性の高い立地での複合化・新築も含めた整備方針をアンケートやワークショップ等を通じて、市民と対話しながら新たな図書館づくりを目指すことが有効と考える。

【政策提言書提出までの経緯】

年月日	内容
令和6年12月13日	取組テーマの選定
令和7年 1月24日	先進地視察先・視察内容の検討
令和7年 2月14日	先進地視察先・視察内容の決定
令和7年 2月28日	先進地視察での調査項目の検討
令和7年 5月19日	先進地視察（愛知県安城市・大阪府守口市）
令和7年 5月20日	先進地視察（大阪府泉大津市）
令和7年 5月28日	先進地視察報告の取りまとめ
令和7年 6月17日	政策提言内容の調整
令和7年 7月 1日	知立市図書館見学・当局ヒアリング
令和7年 7月15日	政策提言内容の調整
令和7年 7月22日	政策提言書の調整
令和7年 8月 4日	政策提言書の市長への提出

【視察を通じて学んだこと】

①安城市アンフォーレ：図書館を核に、まちのにぎわい創出と交流を促進することを目的

【設備面の特長】ハイブリッド型図書館として、紙媒体資料に加え電子書籍やデータベースなど、市民ニーズに合わせた多種多様な資料の収集・整理・保存を実施。

【サービス面での特長】公共図書館と各学校図書館のデータを統合し、市内小中学校の図書館から公共図書館の資料が一括検索できるようネットワーク化。

②守口市立図書館：「集い、学び、交流する」地域コミュニティの場として滞在型図書館

【設備面の特長】親しめる新しい図書館サービスを目指す取り組みとして、カフェコーナー（コーヒー・パンの販売）の設置による交流スペースの確保。

【サービス面での特長】絵本作家を招いてのイベントの開催、絵本作品展示会の開催、子ども読書推進活動など事業の実施。

③泉大津市シープラ：「すべての市民が新しい価値を創造する図書館」を目指す

【設備面の特長】自由に組み合わせのできるデスクや、ミーティングができる空間を確保。

【サービス面での特長】金融機関と連携したセミナー、商用データベースを活用した調査・研究に基づく信頼性の高い情報を得るためのセミナーなど、ビジネス支援の実施。

【企画文教委員会委員構成】

委員長	中島 清志	副委員長	中島 孝之
委員	嶋田 義雄	委員	岩城 道雄
委員	三浦 美香	委員	杉浦 弘一
委員	那須 幸子		